



リモート地区大会 参加詳細資料

1. エントリーについて

まずは別途書類をご精読のうえ、エントリーをお願いいたします。

エントリー締切日：2022 年 7 月 29 日（金） 当日消印有効

2. 応募用の動画・作品写真提出について

- ① 動画 1（いけこみ 30 分間）※1
- ② 動画 2（プレゼンテーション 3 分間）※1
- ③ 作品写真（正面から）
- ④ リモート地区大会提出用紙（所定の書式あり）※2

・①～③の提出物はデータでお送りください。④は郵送・データは問いません。

※1 動画はそれぞれ別のデータで保存したものをお送りください。

※2「リモート地区大会提出用紙」をデータで希望の場合は事務局へメールにてご連絡ください。

・データ送付方法は、以下の a～c のいずれかの方法でご提出ください。

- a. 大容量ファイル転送サービス（ギガファイル便など）を利用し、メールで提出
- b. ファイル共有サービス（Google フォトなど）を利用し、メールで提出
- c. DVD、USB メモリなどのメディアに保存をして郵送

・各書類提出先

【メール】 school@ikenobo.jp

【郵便】 〒604-8134 京都市中京区堂之前町 248

（一財）池坊華道会 事業部 学校華道課 「Ikenobo 花の甲子園 2022」係

・提出締切日：2022 年 9 月 5 日（月）12:00

2. 審査および発表

・提出された動画と作品写真を、池坊中央研修学院 研究員・特別嘱託講師により一地区あたり 4 名（予定）で審査し、地区代表チームを決定します。

・提出内容にルール違反が確認された場合や、制限時間の超過分においては審査対象外となります。

・地区代表チームについて、池坊公式 Youtube <<https://www.youtube.com/ikenobo550>> で、

10 月 3 日（月）16:00 に発表。その後、大会 Web サイトへ掲載します。

・各校への作品講評を、10 月中に、大会 Web サイト内の大会参加者・関係者のみが閲覧できるページで公開予定です。閲覧方法やパスワードは賞状に同封予定です。

3. 作品・いけこみについて

① いけこみ概要

- ・2022 年地区大会テーマ「HOME」に沿って、いけこみ時間 30 分 で作品を制作
- ・花ばさみをバトンとした、リレー形式（1 名 10 分×3 名、10 分以内での交代不可）。
- ・3 名 で 1 作品を制作
- ・花形は自由花のみ
- ・1 チーム 1 種類の 自由花材（持ち込み花材） と大会が指定した 指定花材 を用いて作品を制作

◆いけこみ中、花ばさみを持っていない生徒について

<不可>

- ・花ばさみを持つ
- ・クラフトばさみでの花材の処理
- ・花器に花を挿す、花器に挿してある花に触れる

<可能>

- ・花器を支える、押さえる
- ・針金やテープでの加工やのこぎりの使用
- ・花材処理以外のクラフトばさみの使用
- ・花器に挿してある花以外の花材を手で整理
- ・アドバイスや相談

撮影のコツなども、

SNS にも掲載しています。



花の甲子園 Instagram
@hana_no_koushien

過去大会の動画もご覧ください。

＼ 公式 Youtube に掲載 ／



いけこみ編



プレゼン編

② 準備物

【花材】

- ・指定花材は事務局で手配可能です。「花材申込票」を参照してください。
- ・4 ページの「自由花材について」をご覧ください。自由花材は各自で手配ください。
- ・指定花材、自由花材ともに事前処理は行わないでください。

【花器】

- ・使用する花器に指定はありません。花器の個数は、「1 個のみ」使用可能です。
- 花留めは各自で準備し、事前に花器にセットしてください。（いけ込み 30 分間に含まない）

【花ばさみ】

1 丁（3 名でのリレー形式） ※左利きの出場者がいる場合は、別に使用可能。

※感染対策として、一人一丁ずつ使用可能。（花ばさみを持てるのは 1 人のみ）

【使用可能な道具】

水差し、バケツ、クラフト鋏、ペンチ、ピンセット、ノコギリ、ホッチキス、雑巾、ゴミ袋、針金（各種可・糸巻針金含む）、テープ類（セロテープや両面テープなど各種可）、ステムテープ、フローラテープ、時計 ※事務局では手配しませんので、必要なものを各自ご準備ください。

【その他持込みについて】

- ・花器の下に敷物は使用可能。
- ・異質素材や乾燥素材は使用可能。※ただし、作品の主体とならず、あくまでも表現を高める補助的な使用に限る。

③ 制限時間について

- ・ 30 分時点で終了です。出場者 3 名以外のどなたかにタイムキーパーをつとめていただき、時間計測と、「いけこみ開始 / 10 分毎のメンバー交代 / いけこみ終了」の合図をお願いします。
※経過時間および残り時間のコールに制限はありません。それ以外のお声掛けは禁止です。
- ・ 制限時間内に片付けまで完了し、机上は作品のみの状態にしてください。
- ・ 制限時間終了後、作品を回転させ、正面に向けてから撮影を終了してください。

④ 動画撮影

- ・ 実施場所（撮影場所）に指定はありませんが、明るさを確保できる場所をお選びください。
また、使用する机のサイズに指定はありませんが、立った状態でのいけこみをお願いします。
- ・ カメラの位置を固定して、いけこみ時間内はズーム等の調節はせずに撮影をお願いします。
- ・ スマートフォン等で撮影する場合は、横画面での撮影をお願いします。
- ・ いけこみ開始と同時に撮影を始めるのではなく、制限時間前から撮影を始めていただき、審査時にタイムキーパーの合図も確認できるようにしてください。（音声も ON にした状態で撮影）

⑤ 作品写真撮影

- ・ 30 分間のいけこみ以降、手直しは行わないでください。
- ・ 完成後の作品写真は全体が入るように注意し、正面から撮影してください。
- ・ 作品がはっきり見えるように、背景は白を基調とした無地が望ましいです。難しい場合も障害物など入らないようご注意ください。写真撮影時、動画撮影から場所を移動しても構いません。
- ・ 正面からの写真には写らない箇所などを別のアングルで撮影した写真を補足として送付していただいても構いません。
- ・ 席札をお持ちの方は、作品横に置くことが可能です。（席札の有無は、審査対象外）

4. プレゼンテーション（作品解説）

① プレゼンテーション概要

- ・ 2022 年地区大会テーマ「HOME」に沿って、持ち時間 3 分間で、作品解説（プレゼンテーション）をしていただきます。
- ・ 小道具等を準備し、使用しても結構です。工夫を凝らした発表をお待ちしています。
その際、著作権・肖像権・商標権が発生するものは使用しないでください。
- ・ 発表テーマと作品との関連も解説してください。必ず 3 名全員が発言するようにしてください。

② 制限時間について

いけこみ同様、タイムキーパーの方による時間計測と「開始/3 分終了」の合図をお願いします。
（プレゼン終了 30 秒前のコールのみ可能）

③ 動画撮影について

- ・ 作品を置いた机の後ろに立ち、出場者の前に作品がある状態で撮影をお願いします。
- ・ プレゼン開始前に、「学校名」「チーム名」を言ってから、時間計測をしてください。
- ・ カメラの位置を固定して、プレゼン時間内はズーム等の調節はせずに、制限時間前から撮影を始めていただき、審査時にタイムキーパーの合図も確認できるようにしてください。
- ・ 提出されたプレゼン動画は、大会 Web サイト等で公開予定ですので、予めご承知おきください。

<補足資料>

■動画撮影での NG 例



寄りすぎている

⇒全体が映るようにしてください



ピントが合っていない

⇒ピント調整をしてから録画を開始してください



縦画面での撮影

⇒横画面で撮影をお願いします

■審査観点について

【いけばな作品】

- ・構成力 … 全体として美しく構成できたか、統一と変化、構成、粗密、空間、立体感 など
- ・技術力 … 全体として美しく挿し創作されたか、花材・花器が生かしているか、枝葉の扱い、足元のまとめ方、はさみ・ワイヤーなど道具の使い方 など
- ・表現力 … 全体として作者の意図を十分に反映できたか、テーマとあった作品か、生命力を感じるか、発表課題にあった花材か など

【プレゼンテーション（作品解説）】

- ・プレゼンテーション全体の印象
- ・全体テーマと作品の合致
- ・プレゼンテーション時の工夫
- ・プレゼンテーションの伝わり度 など

【いけこみ中】

- ・整理整頓 … ゴミをきれいに掃除できたか、片づけ・整理はできているか など
- ・礼節・身嗜み … 高校生らしく、人前に立つ姿・態度であるか など
- ・チームワーク … 会話、アドバイス等、協力し合う姿勢を感じたか など

■自由花材（持込み花材）について

- ・普段のお稽古で手に入る金額の花材、または、地元で自生している植物とします
入手先（方法）は問いません。（お花屋さんで購入した花材も可）
高価な花材の多数の持込みはお控えください。（例：アンスリウム 10 本、バラ 10 本など）
- ・針金・テープ類などでの加工や、葉をとるなど、花材の事前処理は一切認めません。
必ずいけこみが始まってから行ってください。
- ・同じ種類の花材でも、色違いや、明らかに形の違うものは一種類として判断できない場合があります。
例：白と赤のバラ、大輪のバラとスプレーバラ など
- ・いけこみ中に必ずはさみを入れ、持ち込んだ状態のまま用いることのないようにしてください。
木物なら枝の根元から先まで、草物なら茎の根元から先まで